



帰国生の学校選び A to Z

●第1回●

早めの情報収集、学校選択、
そして受験対策が重要！

今月より新連載の教育コラムです。ここでは帰国後の中学・高校選びについて役立つ情報をお伝えします。

帰国生が学校選択をする条件は様々です。「帰国生として受け入れてくれる学校はどこか」、「その際の受け入れ条件（たとえば海外在住期間や現地校での在籍期間、帰国後の住所など）は何か」、「どのような選考方法（書類審査や入学試験など）なのか」、「入学後に日本語での勉強についていけるのかどうか」、「日本の学校生活になじめるのか」、「せっかく習得した英語力を保持することができるのか」などのほかにもまだまだ挙げることができるでしょう。このほかにも学校を選択する際には、国立・公立・私立、共学校・男子校・女子高、中高一貫校・中等教育学校などの選択肢もあります。進学実績やクラブ活動なども気になるでしょう。

帰国する際に条件＝希望に見合った学校を選択し、帰国後に満足できる学校生活を送るためには、早めに情報収集することがとても大切です。JOBA や ena、日能研などの学習塾の発行する情報誌や海外子女教育振興財団のウェブサイトで、帰国生受け入れ校の顔ぶれや出願条件のほか、選考方法を知ることができます。ここで、合格するためにはどんな教科の学習が必要か、英検合格や TOEFL のスコア向上のための学習が必要かどうかなどが分かります。また、興味のある学校が決まったら学校のウェブサイトで学校のカリキュラムや諸制度、学校生活などを確認するとよいでしょう。そして、一時帰国の際に学校を訪問することもお勧めします。



執筆者：丹羽 筆人

（文京学院大学女子中学校 高等学校 北米事務所・アドバイザー）

河合塾での指導経験を経て、米国では補習校・学習塾で帰国生入試受験生を指導。現在はトロイイト補習校講師。代表を務める「米日教育交流協議会」では、日本語・日本文化体験「サマーキャンプ in ぎふ」を実施。他に、河合塾北米事務所・アドバイザー。お問い合わせ先：E-mail bunkyo@ujec.org / Phone & Fax 1-855-926-1140